

プリンスエドワード島大学・交換留学(カナダ)

9月より1 Semester (約3.5ヶ月：同年12月まで)
または2 Semester (次の年6月まで) 週間

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
事前学習			事前学習	出発	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
		上旬：説明会 中旬：応募開始	中旬：応募締切	上旬：面接 中旬： 選考結果発表	

プログラム概要

● プログラムの目的

『赤毛のアン』の舞台であり、カナダの歴史で重要な役割を果たして来た、プリンスエドワード島で、カナダの文化や歴史について学ぶ。

● どんな授業を受けられる？

プリンスエドワード島大学 (UPEI) で開講されているすべての授業

● 単位の互換制度 → あり。

- 過去に採択された奨学金 → つくばスカラシップ短期海外研修支援奨学金プログラム、JASSO海外留学支援制度
(※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

● 対象学生、選考方法

学群学類：比較文化学類、学年：制限なし
募集人数：2名程度

- ①英検、TOEFL、CanTest等のスコア証明書写し提出
- ②「私の志望動機と留学の目的」という題の300語程度の英文エッセイ提出
提出書類と面接結果に基づいて選考

● 応募方法

比較文化学類長室に所定用紙で申し込み

学生生活について

住居：ホームステイ、学生寮
費用：授業料不要、渡航料本人負担
生活費：

[学生寮] 1 Semester (3.5ヶ月)
1人部屋/週5日食事付 約48万円
2人部屋/週5日食事付 約41万円
2人部屋/食事なし 約29万円
※参考/自炊2人で月約2万円

[ホームステイ]
3食つきで約7.7万円/月

問い合わせ先

hibun.ic@un.tsukuba.ac.jp (件名を「UPEI交換留学」としてください)

留学のポイント

セメスター単位での留学が可能のため、就職活動や卒業に支障が少ない形での留学が可能です。UPEIは小規模大学（総学生数4400名）でアットホームな雰囲気。世界各国からの留学生が多いのも特徴です。カナダで、世界各国からの留学生と出会い、異文化理解を深めることができます。

パディ・プログラム（本学のチューター制度に似た制度）、ライティング・センターでの英語文章作成サポートシステム、充実したレクリエーション設備が整備されています。

✓ 比較文化学類生だけが参加可能です

世界各地の文化を比較して省察する力を獲得することを目指す比較文化学類生にとって、この交換留学制度はほかにはない機会を与えてくれるものです。留学生対応を熟知している現地スタッフから、学習面、生活面すべてを含めて細かいサポートを受けられることも魅力のひとつです。うれしいことに、プリンス・エドワード島大学で学んだ比較文化学類生は、現地スタッフにより高く評価されています。現地の日本人大学院生によるサポート態勢も準備されています。

2013年度にひとり、2014年度にひとり、プリンス・エドワード島大学から本学に交換留学生が派遣されています。

✓ 勉強はちょっとたいへんそう？

いえいえ、だからこそ達成感・大、英語力も伸びます。

授業前に該当ページを読んでくることを前提に授業が進められます。Readingの量は1週間につき15ページ/1クラス程度。予習は一回75分の授業に対して、2.5～3時間ほどが目安。すべて英語です。

授業は一週間あたり50分×3回、75分×2回、150分×1回のどれかの形式で行われます。3つの授業を取った場合、週に6回程度の授業参加が必要となります。週に2回以上に分かれている場合、前半でreadingの確認、後半でdiscussionの形が多いです。

課題の頻度、評価方法は授業によって異なります。毎回小テストがあるもの、4ページ程度のペーパーがあるもの、term paperとして20ページ程度となるもの、などです。

ペーパーの文法チェックや質問は、Writing Centerで無料で受けることができます。

図書館は平日朝8時から夜11時まで開館していて、カフェ併設、館内飲食自由です。



先生から

プリンス・エドワード島は『赤毛のアン』の島と言われますが、それだけじゃない！カナダ連邦政府発祥の地であるなどカナダの歴史で重要な役割を果たしてきた島です。安全でフレンドリーな環境でカナダの文化や歴史、カナダと日本の交流、異文化について深く学ぶためには、この交換留学はまたとない機会を与えてくれるものです。

豊かな歴史と文化、雄大な自然に恵まれたプリンス・エドワード島。数ヶ月をこの島で過ごすことで、短期の滞在だけでは得ることのできない経験を得ることができます。

プリンスエドワード島大学・夏期語学研修(カナダ)

3週間(8月)

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
説明会	申し込み締切 事前学習		事前学習	出発 帰国	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
報告会					

プログラム概要

● プログラムの目的

『赤毛のアン』の舞台であり、カナダの歴史で重要な役割を果たして来た、プリンスエドワード島で、英語語学研修を受け、カナダの文化や歴史について学ぶ。

● どんな授業を受けられる？

英語授業：週3時間
文化・社会関係科目：週3時間以上

● 単位の互換制度 → あり。比較文化国際研修（3単位）

● 過去に採択された奨学金 → つくばスカラシップ短期海外研修支援奨学金プログラム、JASSO海外留学支援制度 (※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

- 対象学生
 - 学群学類：不問
 - 学年：不問
 - 募集人数：20名程度
 - その他（語学力など）：特になし
- 応募方法
 - 比較文化学類長室に所定用紙で申し込み

学生生活について

- 住居はどんなところ？
ホームステイ
- 生活費はいくらくらい？
プログラム費 約20万円(授業料、3週間のホームステイ：3食、空港ー大学ーステイ先の送迎) ※航空券の料金は含みません

問い合わせ先

hibun.ic@un.tsukuba.ac.jp (件名を「UPEI夏期英語研修」としてください)

留学のポイント

「英語で話す」というより、「英語をコミュニケーションの手段として使う」力を身につけるために、すべての授業とアクティビティは英語で行われます。クラスはレベル別に編成されます。同じクラスに所属する、筑波大学以外、日本以外からの留学生との出会いで、異文化コミュニケーション能力をつけることができます。

✓ ホスト・ファミリーと現地の生活を体験しながら英語を学べる！

プリンス・エドワード島大学スタッフと筑波大学は緊密に連絡をとって、このプログラムを作っています。うれしいことに、夏期英語研修や、交換留学（比較文化学類生のみ）でプリンス・エドワード島大学で学んだ筑波大学生は、プリンス・エドワード島大学現地スタッフにより高く評価されています。ホームステイ経験は、生活に密着した場での英語コミュニケーション能力や、異文化理解能力を伸ばすのに、なによりも役にたつことでしょう。

✓ 筑波大学の全学類生、全大学院生が参加することができます。

午前中は160年ほどの歴史をもつ、ヴィクトリア朝風建築物が立ち並ぶ美しいキャンパスで英語研修、午後と週末は『赤毛のアン』ゆかりの地や、プリンス・エドワード島のいろいろな場所を訪れて、カナダ文化や歴史を学ぶアクティビティが行われます。

プリンス・エドワード島はカナダ東端に位置する、豊かな歴史と自然に恵まれた島です。日本からは約17時間のフライト（トロント等で乗継）。日本で絶大の人気を誇る『赤毛のアン』の作者モンゴメリーは、この島出身で、小説の主な舞台はプリンス・エドワード島に置かれています。治安は大変安全です。8月は14～23度と過ごしやすい気候です。

FAQ :

http://www.hibun.tsukuba.ac.jp/data/doc/1400770129_doc_3_2.pdf



先生から

英語能力だけでなく、カナダの歴史や文化についての理解を深めることができるのが、この夏期研修です。

ひとつだけ注意点。夏とはいえ、かなり涼しく、朝晩は冷え込むこともあります。

海外英語研修(オックスフォード大学・イギリス)

3週間(8~9月)

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
説明会	申し込み開始	申し込み締切	事前研修	出発	帰国
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	報告会				

プログラム概要

● プログラムの目的

目的に応じた英語の効果的コミュニケーションの方法やオックスフォード及び英国の歴史・社会・文化・価値観などについての知識を深める。現地での生活体験、人的交流を通じて異文化対応力を身につける。

● どんな授業を受けられる？

English Seminar: 英語の機能表現、プレゼンの英語など
UK Seminar: オックスフォードの建築、英国の食物など

● 単位の互換制度 → あり。筑波大の自由課目として単位を認定(2単位)

● 過去に採択された奨学金 → 日本学生支援機構(JASSO)8万円

(※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

● 対象学生

学群学類：不問
学年：不問
募集人数：最低催行人員12名
その他(語学力など)：JASSOの奨学金に応募する場合は別途規定あり

● 応募方法

各自で外国語センターに申し込む

学生生活について

● 住居はどんなところ？

ハートフォードカレッジの学生寮、個室
(机、ベッド、クローゼット、本棚、洗面台完備)

● 生活費はいくらくらい？

授業料、滞在費、食費、視察研修費等を含んで約3000ポンド

問い合わせ先

外国語センター事務室
もしくは、久保田章(人文社会系) kubota.akira.gn@u.tsukuba.ac.jp

留学のポイント

✓ 少人数クラスによる指導！

・1クラス10名前後の少人数で、先生は一人ひとりの学力を考慮しながら丁寧に指導します。参加者が一定数いれば習熟度別クラスが編成されるので、いっそうの効果が期待できます。

・参加者の専攻がまとまれば、授業内容をカスタマイズすることもできます。

✓ 外国語センターの正式科目

外国語センターの自由科目(2単位)です。午前中は総合的な4技能の養成、午後は特定のテーマに関する学習活動が中心で、研修のまとめとして、プレゼンテーションを協同で行います。オックスフォード市内の有名施設訪問やロンドン、コッツウォルズ、ブレナム宮殿等への研修旅行も含まれ、異文化に触れる機会も満載です。

✓ ハリポタの世界を体験しながら英語を学べる！

ハートフォードカレッジの起源は13世紀に遡り、オックスフォード大学の中でも最古のカレッジのひとつで、留学生（特にアジア）の語学研修では長年の実績があります。キャンパスの正面にボドリアン図書館、ラドクリフカメラ等々、まさにハリポタの世界が眼前に広がっており、アカデミックな環境と空気の中で学生生活を満喫できます。Residential Advisor として選抜されたカレッジの学生が生活や学業、課外活動などに関してきめ細かくアドバイスしてくれます。

オックスフォードはロンドンの西北西約100kmに位置し、ロンドンから電車で約1時間、コーチで1時間半前後とアクセスが大変便利です。

英語圏で最古のオックスフォード大学を構成する38のカレッジが存在する大学都市で、「夢見る尖塔の街」とも称されています。都会の喧騒から離れて、広大な自然と建築物の一体感が魅力です。



先生から

オックスフォードは街もキャンパスも安全性が高く、これまで海外経験の少ない人には特にお薦めです。言わずと知れたオックスフォード大学ですが、その歴史と伝統と品格の重みをぜひ肌で感じてください。

このプログラムの参考情報はこちら！

<http://hip.hertford.ox.ac.uk/>

バイロイト大学夏期ドイツ語研修（ドイツ）

1ヶ月（8月）

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
説明会 (4月末)	申し込み開始	申し込み締切		出発	帰国
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	報告会				

プログラム概要

● プログラムの目的

ドイツの日常生活の中でドイツ語を学ぶ

● どんな授業を受けられる？

バイロイト大学が提供するサマースクールでドイツ語コミュニケーションコースを受講します。

● 単位の互換制度 → あり。自由科目特設1単位が取得できます。

● 過去に採択された奨学金 → 筑波フェローシップの対象となります。 (※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

- 対象学生
 - 学群学類：不問
 - 学年：不問
 - 募集人数：20名程度
 - その他：ドイツ語を1年間履修すること
- 応募方法
 - 説明会に出席の上、バイロイト大学サマーユニヴァーシティのHPから各自申し込み

学生生活について

- 住居はどんなところ？
バイロイト大学の学生寮
- 生活費はいくらくらい？
1日1000円程度

問い合わせ先

武井隆道（現代語・現代文化専攻） takei.takamichi.ft@u.tsukuba.ac.jp

留学のポイント

✓ 授業は全てドイツ語！

バイロイト大学は異文化コミュニケーションを重視したドイツ語教育で定評があり、ドイツ人スタッフが多様な教材を使ってドイツ語で授業。世界各国からやってくる受講生と、ドイツ語で会話（授業以外では英語でも）が弾み、親しくなれる。

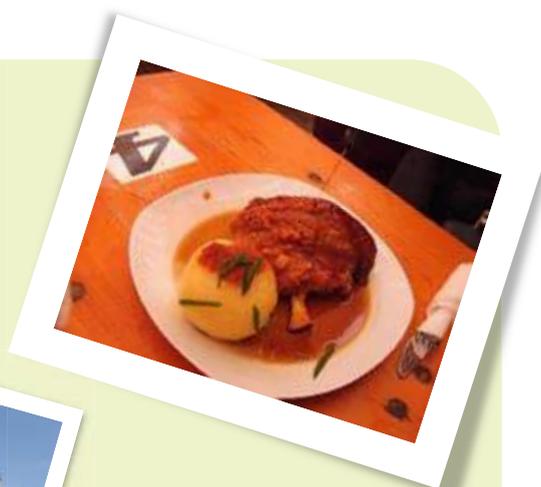
✓ 比文生なら誰でも参加可能！

- 比文だけではなく、筑波大生なら誰でも参加可能。
- 異文化コミュニケーションに留意したドイツ語教育なので比文生には特にオススメです！

✓ 現地の生活を体験しながらドイツ語を学べる！

野外劇場での観劇、18世紀建造の現存ヨーロッパ最古のオペラハウスやバイロイト辺境伯の宮廷文化の遺産を見学。カフェやレストランでの食事、ビアホールでのひととき、肉屋さんで本場ドイツのハムやソーセージを購入などなど、生活を楽しみながらドイツ語に親しむことができます。

バイロイトは、夏はさわやかで過ごしやすく典型的なドイツの小都市です。18世紀までの宮廷の文化遺産やヴァーグナーの歌劇場など見所多数。日本からも音楽ファンが多数訪れる美しい町。



先生から

このサマースクールをきっかけに、ドイツ語コース以外の短期コース、さらには1学期間1年間といった長期留学につなげることができます。

交換留学・夏期語学研修プログラム (サンクトペテルブルグ大学・ロシア連邦)

1年間・1ヶ月(8月)・世界展開カプロジェクト

プログラムスケジュール(夏期語学研修の場合)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
申し込み開始		申し込み締切	事前研修	出発	帰国
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	報告レポート				

プログラム概要

● プログラムの目的

自由な課題を持って1年間交換留学生として留学することができます。また、夏期に3週間以上サンクトペテルブルグ大学の特別文学部においてロシア語の研修を受けて語学力の飛躍とロシア体験を得て、外国語センターの認定する語学単位になります(1単位)。

● どんな授業を受けられる?

月曜から金曜まで毎日充実した語学の授業がつづきます。ほぼロシア語0から始めることも可能ですし、古典語などの高度な授業もあってレベルごとのグループ授業(現地でクラス分け)。

● 単位の互換制度 → あり。(語学・1単位)

● 過去に採択された奨学金 → JASSO、つくばスカラーシップほか (※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

- 対象学生
 - 学群学類：不問
 - 学年：短期研修は1年生も可
 - 募集人数：1年 2名 夏期 若干名
 - その他：1年間の交換留学は留学動機や専攻との関連性の高い学生を優先派遣。
- 応募方法：まずは相談に来てください。

学生生活について

- 住居はどんなところ?
 - 大学の寮(ロシア人と外国人が雑居)に住むかホームステイか選べます。ホームステイだと1日2食つき。
- 生活費はいくらくらい?
 - 1ヶ月の授業料、往復飛行機、全部あわせて30万円くらいと考えてください。

問い合わせ先

加藤百合(研究室は人社B714) QWP10153@nifty.com

留学のポイント

✓ 授業は全てロシア語！

初歩のクラスでも完全にロシア語だけで授業が進みます。そんな馬鹿な?! これこそがロシアが誇るダイレクトメソッド。発音も発想もロシア仕込みの美しいロシア語が身につく、またどんな場合にも何とか意思を疎通させる語学ガッツが育ち、自由時間の散策が楽しくなります。

✓ 比文生なら誰でも参加可能！

とはいえ、もちろん、有効な留学のため第二外国語でロシア語を学んでいる人を基本的には対象にしています。かつて、卒業論文などの関係でぜひロシア研修に行きたいという場合に、留学前に個別でロシア語の基礎を速習するための授業をしました。
・2015年度からロシア語圏との学生交換プログラムが開始されます。

✓ 募集！ 2015年新プログラム開始

「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム」

プログラム生は1年間の交換留学の前に事前研修としてロシア連邦・バルト三国・中央アジアのロシア語圏に2-4週間の短期研修に派遣されます。現地で学生たちと交流したり討論したりするプログラムに参加。→1年間の交換留学（留学先：モスクワ大学、モスクワ市立教育大学、サンクトペテルブルグ大学、極東連邦大学、タシケント国立東洋学大学、世界経済外交大学、カザフ国立大学、カザフ経済大学）。このプログラムは日本政府の補助金を得ているので実質無料。委細応談

ロシアの旧都、また、世界一北にある百万都市、ドストエフスキー、ゴーゴリなどが住んだ文学の街です。街並みはドストエフスキーの時代からほとんどかわっておらず、『罪と罰』などの世界を体験することができます。夏は白夜、冬はマロース（厳冬）で、街はそれぞれの季節に別の顔をもっています。ロシア人はとても友情を大事にします。きっと親友が見つかるでしょう。



（ロシアが大好きな）先生から

1年間の提携校への交換留学、1ヶ月の夏期語学研修、そして世界展開プロジェクトによる留学プログラム、と、2015年度から3つの留学制度が動きますので、ちょっとつめこんでしまいました。

上海語学研修プログラム(華東師範大学・中国)

1ヶ月(3月)

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月
	説明会 申し込み開始	申し込み締切		事前研修	出発 帰国

プログラム概要

● プログラムの目的

中国語の実力を身につけるとともに、中国の今に対する理解を深めます。

● どんな授業を受けられる？

午前中は語学学習。 → 授業はすべて中国語で行われます。
 午後は体験学習。 → さまざまな日系企業を訪問します。

● 単位の互換制度 → あり。(2単位)

● 過去に採択された奨学金 → JASSO短期派遣支援奨学金、つくばスカラシップ (※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

- 対象学生
 - 学群学類：不問
 - 学年：不問
 - 募集人数：15名
 - その他：中国語の学習歴があること
- 応募方法：外国語センター窓口。
 担当教員にメール

学生生活について

- 住居はどんなところ？
 大学内の宿舎を利用します。
 約2,000円/日
- 費用はいくらくらい？
 総費用は約17万円(食費を除く)
 費用が安いのも魅力の一つです。

問い合わせ先

佐々木 勲人(人文社会系) sasaki.yoshihito.gm@u.tsukuba.ac.jp

留学のポイント

✓ 授業は全て中国語！

少人数クラスで、毎日4時間。中国人の先生による、中国語だけの授業で、かなり実力がつきます。

✓ 外国語センターの授業です

外国語センターと上海教育研究センターが共同で提供する全学対象の特設自由科目です。短期集中型の語学学習と実践型の体験学習を外国語教育の一環として行います。

✓ 語学研修と同時に、現地の日系企業を見学！！

このプログラムの大きな特色は、語学研修と体験学習を組み合わせている点にあります。集中的な語学学習によって中国語の運用能力を高めるだけでなく、国際都市上海で活躍する現地企業での体験学習を通して、発展めざましい中国の今に対する理解を深めます。プログラムに参加し合格評価を得た場合は、所属する学類の規定にもとづき2単位が認定されます。

中国最大の都市上海には、たくさんの日系企業が進出しています。上海の気候は東京とほぼ変わりません。3月は一年のうちで最も過ごしやすい時期です。



先生から

日中関係が複雑さを増している今だからこそ、中国のこと、中国人のことを良く知ってもらいたいですね。

湖南大学夏季短期研修（湖南大学・中国）

3週間（8月）

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
		説明会	申し込み締切	出発	帰国 レポート提出
10月	11月	12月	1月	2月	3月

プログラム概要

● プログラムの目的

中国人及び中国社会にじかに触れながら、生きた中国語を身につける。

● どんな授業を受けられる？

参加者のレベルに合わせた語学プログラムを組んでもらえるほか、さまざまな課外学習も用意されています。

● 単位の互換制度 → 単位互換制度はないが、自由科目として2単位認定可

● 過去に採択された奨学金 → つくばスカラシップ

（※必ず採用されるわけではありません）

応募条件、応募方法

- 対象学生
 - 学群学類：不問
 - 学年：不問、大学院生も可
 - 募集人数：3～8名
 - その他：半年以上の中国語学習歴があること
- 応募方法
 - 説明会または外国語センター事務室で応募書類を受け取り、提出。

学生生活について

- 住居はどんなところ？
 - 学生宿舎または近隣のホテル。校内にさまざまなお店があり、生活は大変便利。
- 生活費はいくらくらい？
 - お小遣いは、ひと月5万円ほどで足りるようです。ただし、近年は物価があがっているので注意。

問い合わせ先

池田晋（外国語センター）

ikedasusumu.ge@u.tsukuba.ac.jp

留学のポイント

✓ 授業は全て中国語！

・授業はすべて中国語ですが、参加者のレベルに合わせて、授業内容を調整してくれるので安心です。

・参加者ひとりひとりに、チューターをつけてくれます。

✓ 筑波大生なら誰でも参加可能

湖南大学夏季短期研修は、中国語の学習歴が半年以上ある筑波大生なら、誰でも参加することができます！

✓ さまざまな課外活動を通して、活かした中国語を学ぶ！

湖南大学夏季短期研修の特徴の1つは、課外活動が充実していることです。さまざまな文化体験授業や、学外での活動を通して、中国文化への理解を深めることができ、自然と中国語でコミュニケーションをとる力が身に付きます。

（課外活動の例：書道、舞踊、岳陽楼見学、北京観光など）

・湖南大学のある長沙市は、湖南省の省都であり、中国国内でも特に大きな地方都市の1つです。

・馬王堆漢墓や岳陽楼などの歴史的観光名所もあります。

・湖南省は料理が辛いことで有名。辛いもの好きはぜひ湖南の激辛料理にチャレンジしてみてください。



先生から

中国に行ったことがなくて不安を感じている人や、留学先の授業についていけるか心配な人に、特にオススメのプログラムです。興味のある方は、ぜひ説明会に足を運んでみてください！

フルサ・サイーダプログラム チュニジアコース(FSPTC)

(チュニス・エル＝マナール大学付属ブルギバ現代言語学院:通称ブルギバスクール)
1カ月強

プログラムスケジュール

4月	5月	6月	7月	←チュニジア滞在→	8月	9月
中旬: 説明会・担当 教員に参加表明	GW明け: 申込書類提出	中旬: 事前説明会/派 遣生親睦会	初旬: 出発・現地事前 研修・授業開始	上旬: 期末試験、修了式 中旬以降:帰国 あるいは個人旅行	初旬~中旬: 個人旅行者帰国 月末:報告 レポート提出	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
下旬: 留学フェア出展 帰国報告会					下旬: 北アフリカ研究 センターによる 報告書出版	

プログラム概要

- **プログラムの目的** → フルサ・サイーダとはアラビア語で「はじめまして」を意味する言葉。チュニジアの名門語学学校ブルギバスクールのアラビア語と現地文化に関する夏期講習に参加することで、チュニジア/アラブ世界を学ぶ機会を持つ。
- **どんな授業を受けられる?** → レベル別、15名程度のクラスに分けられ、SpeakingとWritingの2コマを受講。平日の8時~13時×5週間、集中的にアラビア語を学ぶ。これ以外に希望者は現地文化の課外活動も受講できる。最終試験、修了証付与
- **単位の互換制度** → 2015年度に向け調整中
- **奨学金など** → JASSO奨学金受給には成績評価係数(GPAとは異なる)2.3以上必須。北アフリカ研究センター経由駐日チュニジア大使館の推薦により、授業料免除・寮費補助の可能性有
- **ユニークな点** → 北アフリカ研究センターが築いてきたネットワークを生かし、駐日チュニジア大使や駐チュニジア日本大使との交流の場を設けることで、現地の言語・文化というローカルな知識のみならず、外交という、よりダイナミックでグローバルな知見も育成することができる。チュニジア人だけでなく、世界中の留学生と仲良くなれる。

応募条件、応募方法

- 対象学生
学群生、院生を問わず、誰でも参加可能。アラビア語未修者も歓迎
- 応募方法
書類提出締切前の4月中に北アフリカ研究センターへ連絡。その後、GW明けまでにブルギバスクールHPでのオンライン登録、チュニジア大使館への申請書類など提出

学生生活について

- 住居はどんなところ?
ブルギバスクール付属学生寮。世界各国からの留学生とともに暮らすグローバルな環境
- 総費用はいくらくらい?
航空券や宿泊も含め**8~10万円!** JASSO(2015年度は12万円)と大使館奨学金(授業料免除と寮費補助)が出るため、実質に必要なのは食費・日用品・交通費・通信費で5万円弱と課外活動(観光)に3~5万円。経済的には、非常に低費用の海外研修

留学のポイント

✓ 授業は全てアラビア語！

授業は基本的にはアラビア語で進められる。西欧からの学生も多いため、質疑応答では仏語を使う場面も多い。仏語での説明が分からない場合は、英仏両言語がわかるクラスメートが助力してくれることも。イタリアやフランス、スペイン、アメリカ、韓国など、世界各国の学生とともに学べるのも大きな魅力。

✓ アラビア語未修でも大丈夫！

アラビア文字から学ぶ初級コースも開講しているため、初めてアラビア語を学ぶ人でも参加可能。2014年度のプログラムでもアラビア語未修者が2名いたが、最終的にはクラスを首席で卒業するほど上達する派遣生もいた。初習外国語を、現地で1か月以上にわたり学べるのは大変貴重な経験。

✓ 課外授業・世界遺産へのエクスカージョン・終了後の第三国への旅行

ブルギバスクールでは、アラビア語の授業のほかに、チュニジア文化を体験できるさまざまな課外授業を受けることができる。アラビア書道や詩の朗読から料理、民俗舞踊にいたるまでたくさんの選択肢がある。また、休日には同校が主催する、チュニジア国内の観光地を巡るエクスカージョンが行われる。国内の見どころを効率よく安全に回れるため、学生にはとても人気がある。行く先は世界遺産カルタゴ遺跡や、『スターウォーズ』の撮影地南部マトマタなど。FSP終了後、個人の責任の範囲内で、トルコやモロッコなど第三国へ旅行してから帰国するFSPTC生も多い。FSP終了後の活動は、すべて自己責任となるため、安全には一層気をつけて！



- アフリカの北、地中海の南に位置
- 古代都市国家カルタゴとして繁栄
- 地中海、アラブ、アフリカ、イスラームという異なる文化が交差する土地
- 北に真っ青な地中海、南に広大なサハラ砂漠が広がる
- 各地に、計8つの世界遺産
- アラビア語が公用語だが、フランス語も広く普及
- 国民の9割以上がスンニ派イスラームを信仰する一方、イスラーム到来以前からあるユダヤ教や近代以降到来したキリスト教を信仰する人々も存在
- アラブ革命の端緒となった国だが、その後の社会状況は他国に比べ安定
- 国民の多くが大変親日的



【基本情報】

- 建国：1956年フランスより独立
- 人口：約1000万（2015年現在）
- 面積：約16万km²
- 通貨：チュニジアン・ディナール（1TD≒約¥60）



運営者から一言

「フルサ・サイーダ」（お目にかかれてうれしいです）と挨拶して地中海、アラブ、アフリカ、イスラーム、古代ローマというさまざまな文化が混ざり合うチュニジアに飛び込んで行ってください。暑い！空が青い！アラビア語が分かってきた！チュニジア料理がおいしい！とにかく、楽しくて充実している！そんな経験がみなさんを待っています。

このプログラムに参加した先輩の体験記→ 58ページへ

2014年度フルサ・サイーダプログラム帰国報告会 フルサ・サイーダプログラムチュニジアコース

国際地域研究1年牧野真理子、比較文化学類3年堀内菜、人文学類2年小川湧司、教育学類3年嶋村安祐美、生物学類2年田中千智、国際総合学類4年山中巧、同3年荒井大樹、同2年佐藤南

プログラム概要

内容: アラビア語夏期集中コース
 期間: 2014年7月3日-8月8日 (アラビア語学研修) + (任意で語学学校終了後に第3国への渡航も可能)

場所: チュニス(チュニジアの首都)

ブルギバスクール (チュニス・エル・マナール大学付属ブルギバ現代言語学院)

参加者: 8名…牧野 (国際地域1), 山中 (国際4), 堀内 (比文3), 荒井 (国際3), 嶋村 (教育3), 田中(生物2), 佐藤(国際2), 小川(人文2)

チュニジアについて

首都: チュニス

人口: 10,673,800人

公用語: アラビア語 (フランス語も広く普及)

宗教: イスラム教(スンニ派)・キリスト教・ユダヤ教

通貨: チュニジア・ディナール(1DT=60円2014年9月30日現在)



チュニジアの位置

ブルギバスクール

- ✓ 大学付属の語学学校。
- ✓ 夏季は外国人向けにアラビア語の授業を開講。
- ✓ 国内では有名な学校で、チュニス市街でアラビア語を話す、ブルギバの生徒かと頻りに聞かれるほど。

授業について

- ✓ 9段階のレベル別授業(プレイスメントテスト有り)
- ✓ 1クラス15人程度
- ✓ 8:00~13:00 読む・書く・聞く・話す
- ✓ 基本的にすべてアラビア語で授業
- ✓ 最終試験あり

課外授業について

- ✓ 任意で様々な課外授業に参加できる。
- ・イスラム書道 ・チュニジア料理
- ・詩の朗読 ・チュニジア方言
- ・チュニジア音楽と踊り など



ブルギバスクール

総費用

	山中の例 東京-ドーハ- チュニス往復	田中の例 東京-イスタンブール- チュニス往復
航空券	106,000	180,000
海外旅行保険	9,000	27,000
チュニジアでの生活費 (約5週間)		
授業料、寮費	免除	免除
課外活動	30,000	60,000
食費・日用品	30,000	40,000
交通・通信費	10,000	8,000
その他(お土産等)	20,000	35,000
チュニジア合計	205,000	143,000
トルコでの滞在費 (約1週間)		
	122,000	
総費用	205,000	472,000

✓ チュニジア政府奨学金によって授業料、寮費が免除された。また、チュニジアコースの場合JASSO奨学金が60,000円支給された。

エクスカージョン

週末を利用した学校主催のバスツアー

☆北部ツアー (200DT)
 北部のリゾート地と古代ローマ遺跡を巡る一泊二日のツアー。世界遺産のドゥッカや、地下住居で有名なブラレジアを観光する。プールやプライベートビーチがある五つ星のホテルに宿泊。



ドゥッカ



サハラ砂漠

☆南部ツアー (400DT)
 様々な南部主要観光地を巡る三泊四日のツアー。遺跡、オアシス、塩湖などを観光。アルジェリア国境付近など個人では難しい場所に行けるのもツアーならではの。砂漠でテント泊をしたり、ラクダに乗って散歩など貴重な経験ができた。



レーザー・ルージュ



イスラームのシンボル
月と星

現地での生活



学校近くの市場

✓ 物価
 公共交通も含め、たいいていものは日本より安い。しかし、肉や魚は同じくらいの印象。スーパーよりも市場の方が安く、新鮮なものが買える。



海辺の街のランチ

✓ 食事
 ラマダン期間と重なっていたため学校前のファストフード店で昼食。ラマダン中はやっていないお店も多いが、学校前のお店はブルギバ生のために開店していた。夕食は主に寮にて自炊。時にはレストランに行くことも。買い物はフランス系スーパーが学校の近くにあり便利。クレジットカードも利用可。スークも学校近くにあった。



学生寮

✓ 治安
 概ね安全。しかし、スリやひったくりが起きることも。少額のぼったくりはよくある。車は基本的に優占されていた印象。タクシーの中には、乗客がいるにもかかわらず危険な運転をする運転手もいる。



チュニスのメディナ

✓ 通信
 寮ではWifiが使える。Tunisie telecom・Orange・Ooredoo等の携帯会社があり、SIMカードを買って(5DT)プリペイドで通話可、データ通信をしたい場合1か月7DTで可能(Orangeの場合)。



クスクス

✓ 学生寮
 フルギバから歩いて20~30分。閑静な住宅街の中にある。1部屋は3人用や2人用。トイレとシャワーは2部屋で共用。炊事場は共用で滞在中に新しいコンロや冷蔵庫が使えるようになった。

プログラムを通して

- ✓ アラビア語の上達
- ✓ イメージの刷新・再構成
 渡航前のチュニジアのイメージと、実際に訪れて知ったチュニジア
- ✓ 人々との交流
 チュニジアでの現地の人や他国からの留学生、また筑波大学のプログラムの関係者の方々とも
- ✓ 異国・異文化への適応能力
 日本とは異なる文化圏であるチュニジアでの一ヶ月の生活
- ✓ 今後の大学生活・学習のモチベーションに



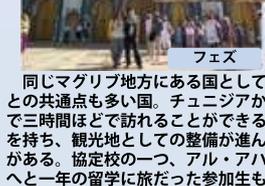
シディ・フ・サイド

第三国への渡航

〈トルコ〉
 チュニジアへのフライト経由地として、研修後トルコに旅行する参加者が多かった。旅行会社のツアー又は個人旅行で。経済発展が進んだイスタンブールであるが、その中にもイスラーム文化が色濃く残っている。



〈モロッコ〉
 マラケシュ



フェズ

同じマグリブ地方にある国としてチュニジアとの共通点も多い国。チュニジアからは飛行機で三時間ほどで訪れることができる。広い国土を持ち、観光地としての整備が進んでいた印象がある。協定校の一つ、アル・アハワイン大学へと一年の留学に旅立った参加生も。

これ以外にも参加者各々がプログラム以降も活発な活動を続けていた。

アラビア語と現地文化を知るための短期研修 フルサ・サイーダプログラム ヨルダンコース

留学概要

期間: 2014/8/6~28

場所: ヨルダン **イルビッド** ヨルダン科学技術大学(JUST)
アンマン(首都)

参加者: 医学3年 谷口雄大, 社会3年 石原重里沙, 社会2年 宮部祥代,
看護2年 中野早月, 生物資源2年 林浩平, 国際総合1年 嶋田優奈

内容: アラビア語授業 (8/10~14,17)
フィールドワーク (8/18~21)
シリア難民の現状視察 (8/23~26)

宿泊施設

イルビッド ヨルダン科学技術大学内の学生寮(男女1部屋ずつ)
学生用部屋がすべて埋まっていたため、先生用のゲストルームでした。
お風呂・トイレ・キッチンがあり、食器などもありました。全員で包丁や鍋
を買って、朝・晩ご飯は自分たちで用意していました。

アンマン ノルマスホテル
ダウンタウンにある。

基本費用	
海外保険+OSSMA等(旅前前)	-¥15,000
航空券	-¥150,000
授業料・寮費	-¥70,000
アンマンでのホテル代(男:6日間,女:5日間 1部屋2人)	男:-¥70,000 女:-¥60,000
生活費(食費・交通費等)	-¥15,000
その他	-¥22,000
JASSO奨学金	+¥80,000
合計	¥194,000~¥195,000



《+αとしての小旅行》

宮部祥代

研修も終盤に差し掛かり、8月25日にプログラム参加者一同でペトラ遺跡を訪問した後、参加者の一人と私は皆と違った人別行動を取り、翌日からワディ・ラム、アカバを旅した。その夜は、たまたま週に三度だけ開催されるペトラ・バイ・ナイト(12JD:約1800円)というイベントの日で、1500本ものろうそくでライトアップされた、昼間とは異なる静かで幻想的なペトラの魅力を味わうことができた。

翌日8月26日に、私達はタクシーとバスを乗り継ぎワディ・ラムへ。40時間のジープツアー(好意により80時間に延長)と星空のもとでのキャンプを体験した(60JD:約8000円)。映画『アラビアのロレンス』に関するロレンスの泉やどこまでも続く砂山、ダイナミックな石橋のクライミングなどは、ワディ・ラムの広大な砂漠ならではの。そして夜、屋外にマットレスを敷き、流れ星を数えながら眠りに就いたときは、物に満たされなくても贅沢な気持ちを感じることができた瞬間だった。

翌朝、私達はヨルダンが唯一外海に接する町、アカバへ。免税のレジャーリゾートとして知られるこの地で、私達は紅海横断にイスラエルを眺め、ヨルダンでは珍しい魚料理や買い物などを満喫し、その後アンマンへ戻って皆と合流した。

以上のように、自由度が高く、自らの旅の希望を叶えることができるという本プログラム・ヨルダンコースの特色を生かせる、大変満足のいく小旅行であった。



ラワーン先生と、修了証書をもって

アラビア語の授業 (in JUST)

JUST

スケジュール	アラビア語の授業
9:00~	アラビア語の授業
10:45~	コーヒーブレイク
11:00~	アラビア語の授業
12:00~	食堂にてランチ(各3JD)
13:00~15:00	アラビア語の授業

内容:英語による授業

FSP参加生6人対先生1人の授業

アラビア語の基礎から授業開始

;アラビア語のアルファベット(独立形へ語頭・語中・語尾形)練習、

アラビア文字を繋げる練習、挨拶、発音

最終的にはリーディング・ライティング練習



※コーヒーブレイクでは、毎回先生がアラブ菓子をもってきてくれました。しかもほとんど手作りのものでした。ランチは主に前菜、チキンとご飯、ランチ価格を値切る前はデザートもついて豪華でした。毎回先生がどんな料理か説明してくれ、様々なアラブ料理を楽しむことができました。

フィールドワーク

ヨルダン渓谷の農業視察 農業施設で1時間ほど畑を歩き作物の様子や灌漑等を見学

ドイツヨルダン大学訪問 オーガナイザーのMajed先生が務めるヨルダン大学、またヨルダン大学支部の施設を見学

ジェラシュ遺跡 アラビア語の教師、ラワーン先生と息子のハッサン君と

死海 Majed先生の娘のDariaさん、Randちゃん

※農業見学はあまり時間も取られず、午前中で終わり、午後はフリーでした。

※プログラム全体を通して言えることですが、スケジュールは現地で、前日の夜などに決まり、また変更することもしばしばです。そのため、プログラム内容は年度ごとに異なると思います。

シリア難民現状視察

オーガナイザー シリア難民支援団体サダーカ 代表: 田村雅文さん 副代表: 渡部穂さん

スケジュール	
8/23	アンマン市内病院見学 空き地に住む都市難民家庭訪問
8/24	ザータリキャンプ視察 2グループに分かれて 1. JENにて キャンプ内水・衛生施設見学 2. KOKにて キャンプ内教育施設見学 アンマン市内シリア難民家庭訪問(明治学院の方々の調査に同行)
8/25	石原、中野、嶋田<>シリア難民家庭ホームステイ 谷口<>アコモデーションセンター(負傷したシリア人が暮らしている施設)にて宿泊
8/26	アコモデーションセンターにて施設で暮らす人たちと交流

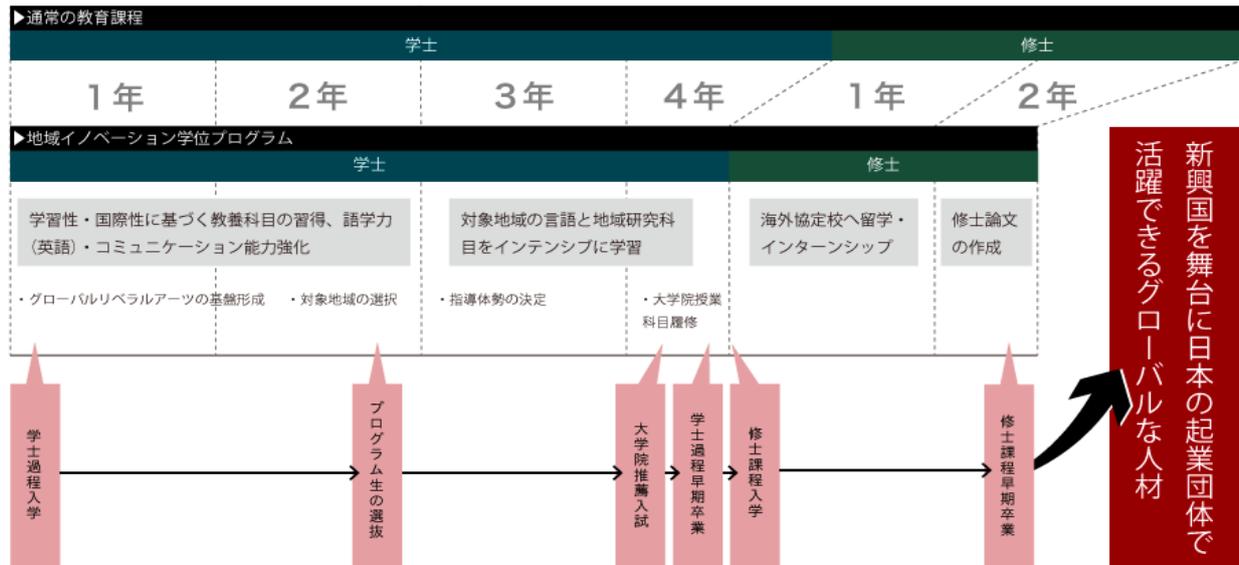
今回このプログラムに携わってくれた方々、出会った人たち全員に感謝します。 شكرا جزيلاً

地域研究イノベーション学位プログラム

新興国13カ国、協定校17校以上・大学院在籍時に1年間



プログラムスケジュール



プログラム概要

● プログラムの特色

- ① 学士課程(3年半)と修士課程(1年半)を縦断した一貫制早期修了プログラム(最短5年で修了可能)
- ② 大学院の正規課程に1年の留学を組み込む教育プログラム
- ③ 新興国・開発途上国地域での充実した現地学習
- ④ オリジナルな地域専門家育成プログラム

● 奨学金 → JASSO、つくばスカラシップなど(※必ず採用されるわけではありません)

応募条件、応募方法

● 対象学生

学群：人文・文化学群、社会・国際学群
学年：2年次(2月)に選抜

● 選抜方法

英語力(TOEFLなど)、単位履修状況、研究プランと抱負、口述試験の結果を総合的に判断してプログラム生を選抜します。

学生生活

- 留学中の住居は、原則としてホームステイとなります。
- 留学中に日系企業などでインターンを体験します。
- 日本語・日本文化を紹介する活動(SEND)も推奨されています。

問い合わせ先 ASIP事務局 文科系修士棟8A-103 029-853-2946

<https://www.facebook.com/tsukuba.asip.glocal>

<http://asip.hass.tsukuba.ac.jp/>

留学のポイント

留学先はこんなところ

- ✓ 協定校に留学するので、現地の学費は不要！
- ✓ 留学中も本学の指導教員が研究と生活をサポート！

<中央アジア・北アフリカ>

ウズベキスタン（タシケント国立東京学大学）、カザフスタン（カザフ国立大学）、ウクラナイナ（キエフ国立大学）、チュニジア（カルタゴ大学、チュニス・エルマナール大学）モロッコ（アルニアハウイン大学）

<南アジア・東アジア>

インド（ジャワハルラー・ネルー大学）、ベトナム（ホーチミン市師範大学）、インドネシア（パジャジャラン大学、インドネシア大学）、中国（北京大学、華東師範大学）

<南米>

メキシコ（メキシコ大学院大学）、ブラジル（サンパウロ大学、ブラジリア大学）、ペルー（ペルー・カトリカ大学）、チリ（チリ大学）

✓ 充実の現地語科目！

- ・ 現地語の基礎と応用を1年次より履修することができます。

アラビア語、ロシア語、中国語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語

- ・ TOEFL iBT集中講座も用意されているので、英語力もUP！

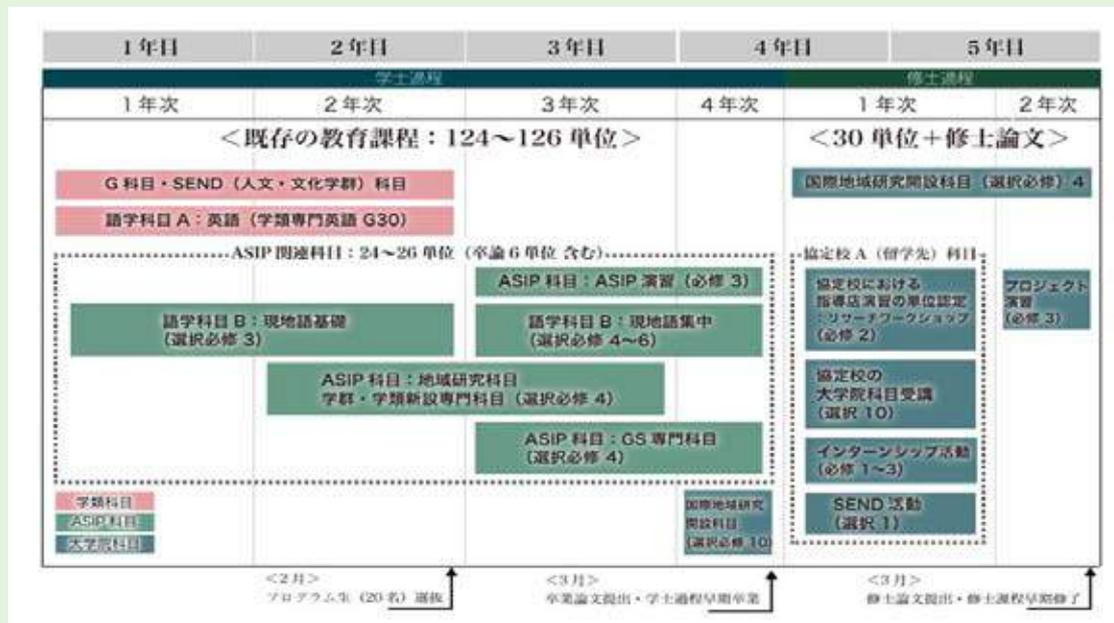
✓ 地域専門家育成プログラム

学類で必要となる単位に加え、ASIP関連科目を24～26単位(卒論含む)を履修。

【ASIP地域研究科目の一例】

北アフリカの経済と社会、
中東・中央アジア文化研究、
中央アジアの国家と社会、アジアの国際関係
アジア政治、ラテンアメリカの政治、
ラテンアメリカの国際関係

カリキュラムの流れ



グローバルに活躍する地域プロフェッショナルを目指せ！

